

令和4年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局・帯広防衛支局

開催日及び場所	令和5年2月28日（火）札幌第3合同庁舎1F共用会議室
委員	菊地 均（大学名誉教授） 神谷奈保子（大学客員教授） 大浦 崇志（公認会計士） 北守 一隆（大学名誉教授） 中野 雅文（弁護士）

防衛省発注機関が締結する契約（建設工事等）に関する審議

審議対象期間	令和4年10月1日～令和4年12月31日	
審議対象件数	23 件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	4 件	（審議概要） 1 契約状況の説明 2 抽出事案の概要説明 3 抽出事案の審議
一般競争契約	4 件	
指名競争契約	0 件	
随意契約	0 件	
	意見・質問	回 答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答	【抽出案件】 ①根室（4）東基地局舎改修等建築工事監理業務 ・前年度には、同種の工事監理業務の発注があったのか。 ・今回の応札者1者が根室管内において、これまでに応札していた情報は持っているか。 ・その際には、他に入札参加業者はいたのか。	・同じ根室地区での監理業務の発注はない。 ・平成30年度に、同種の監理業務を受注している。 ・そこまでは承知していない。

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、入札が2回行われたのは、予定価格を超過していたためか。 ・予定価格を超過した後の手続きの流れを説明されたい。 ・入札した業者が、1者であり札幌の業者である理由はあるのか ・帯広、釧路に登録業者は存在するが、今回は参加していないということか。 ・結果的に落札しているが、予定価格と大きく違う項目はあったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。 ・予定価格超過を確認したのち、参加者が提出している内訳書をもって乖離がある内容を精査して、それについて補足説明を行い、2回目入札に参加の意思を確認したうえで再入札を行っている。 ・支局管内で本社登録しているコンサルタントは大変少なく、Aランクの業者は0社、Bランクは4社程度、Cランクは7社程度であり、根室市内では登録者はおらず、道東地区において登録業者が極端に少ないのが原因と考えられる。 ・そうである。 昨年も発注があったが、ここ数年は応募参加は無く、広報等参加してくれるよう働きかけているが、参加者が増加しない状況である。 ・提出された内訳書により確認したところ、特別経費に開きがみられたので、特別経費の内訳（旅費等）について改めて補足説明を行った結果、落札に至った。

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答</p>	<p>②松前（４）局舎新設建築その他工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 者応札だった理由を説明されたい。 ・ 松前町には参加資格がある業者はいないのか。 ・ 評価点の採点方法について、説明されたい。 <p>③宗谷外（４）土木工事監理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 地区をまとめて発注した理由を知りたい。 ・ 当該地区において、通常何社ぐらいで競争しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事場所の松前町は函館市から車で 2 時間程の距離がある。函館市には、過去に防衛施設整備の実績がある A ランクの業者は 5 社程度であり、それらの者にヒアリングを行ったところ、配置できる技術者が不足していたことと、工事場所が函館市から遠方のため下請負者の確保が困難であったことが要因であった。 ・ いない。近傍の都市で言えば函館市に数社所在している。 ・ 本工事は、入札者の技術等の各評価項目の得点の合計を当該入札者の入札価格で除して得た数値を落札者とする総合評価落札方式を採用している。 総合評価点のうち、技術評価点は入札参加者が提出した技術資料を確認し、入札公告等に提示している評価基準に基づいて算出している。 なお、同評価点については、当局の競争参加資格等審査委員会で審議の上、決定しているものである。 ・ 宗谷通信所と稚内分屯基地は道北の僻地であり単独で発注した場合、参加者が極端に少なくなることが予想されるため、業務を一つにまとめ、発注ロットを大きくすることで、多数の応募者が見込めると考えた。 ・ 1, 2 社である。

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答</p>	<p>・ 1 者 辞 退 し た 理 由 を 知 り た い。</p> <p>・ 辞 退 し た 業 者 の 評 価 点 の 技 術 評 価 点 が な い 理 由 を 知 り た い。</p> <p>④北海道大演習場（４）環境モニタリング業務</p> <p>・ 無 効 の 業 者 の 説 明 を さ れ た い。</p> <p>・ 令 和 ２ 年 と 令 和 ３ 年 に も 同 様 の モ ニ タ リ ン グ 業 務 が 発 注 さ れ て お り 、 そ の 落 札 率 は ９ ６ ％ 以 上 で あ る と ころ 、 本 業 務 の 落 札 率 は ８ ４ ％ と 低 い 値 と な っ た 理 由 を 知 り た い。</p> <p>・ 入 札 状 況 調 書 を み る と 最 低 価 格 が 落 札 し て い る わ け で は な い 様 な の で す が 、 評 価 点 と の 関 連 性 を 知 り た い。</p>	<p>・ 辞 退 し た 業 者 に 確 認 し た と ころ 、 配 置 予 定 技 術 者 が 他 の 業 務 の 担 当 と な っ た た め 、 配 置 で き る 技 術 者 が い な く な っ た こ と か ら 辞 退 し た と 聞 い て い る。</p> <p>・ 辞 退 し た た め 、 点 数 を 記 載 し て い な い。</p> <p>・ 品 質 確 保 基 準 価 格 を 下 回 っ た た め 、 第 三 者 履 行 確 認 の 実 施 の 可 否 を 行 っ た と ころ 、 実 施 し な い 旨 回 答 が あ っ た た め 、 無 効 と し た。</p> <p>・ 令 和 ２ 年 か ら 行 わ れ て い る 事 業 で あ り 、 業 務 内 容 等 が 熟 知 さ れ 企 業 努 力 が な さ れ て い る の で は と 考 え て い る。</p> <p>・ 本 業 務 は 、 入 札 金 額 を 基 と す る 価 格 評 価 点 と 技 術 評 価 点 を 合 計 し た 点 数 の 高 い 入 札 参 加 者 を 落 札 者 と す る 総 合 評 価 落 札 方 式 を 採 用 し て い る。 総 合 評 価 点 の う ち 、 技 術 評 価 点 は 入 札 参 加 者 が 提 出 し た 技 術 資 料 を 確 認 し 、 入 札 公 告 等 に 提 示 し て い る 評 価 基 準 に 基 づ い て 算 出 し て い る。 な お 同 評 価 点 に つ い て は 、 当 局 の 競 争 参 加 資 格 等 審 査 委 員 会 で 審 議 の 上 、 決 定 し て い る も の で あ る。</p>

2. 談合疑義案件の処理状況について				
談合疑義案件		0 件		(審議概要) 処理状況を報告
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問		回 答
		・なし		
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし		
3. 再苦情処理（再説明請求回答）				
再苦情申立件数 (再説明請求件数)		総件数 0 件		(備考)
建 設 工 事	一般競争(政府調達協定対象外)	件		
	公募型指名競争	件		
	指名競争	件		
	随意契約	件		
建設コンサルタント業務等		件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)		申立日	件名	契約方式
				内容等
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答		意見・質問		回 答
		・なし		
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし		